



平城遷都
1300年祭

平城遷都1300年祭

趣 旨

■平城遷都1300年を機に、日本の歴史・文化が連綿と続いたことを“**祝い、感謝する**”とともに、“日本のはじまり 奈良”を素材に、過去・現在・未来の日本を“**考える**”。

■平城遷都1300年祭の中核として「平城遷都1300年記念祝典」、「東アジア未来会議 奈良2010」を展開し、内外の幅広い賛同と参加のもとで国家的・国民的事業として展開する。

概 要

会 期	2010（平成22）年 1月1日から12月31日 平城宮跡では、4月24日～11月 7日
会 場	平城宮跡（主会場） 奈良県内、関西等の各地
規 模	《参集者見込み》 ○平城宮跡事業 約 250万人 程度 ○記念イベント全体 約1,200～1,300万人 程度 《協会事業規模》 100億円程度

事業構成

（各事業の内容は主なものを記載）

平城宮跡事業

2010年に、平城宮跡及びその周辺において、通季（春～秋）の展示・イベント等と各季（春・夏・秋）のフェア等を展開し、歴史文化を実体験できる場・機会を提供。

通季：4月24日～11月7日

- ◆ 平城京歴史館
- ◆ 遣唐使船復原展示
- ◆ 平城京なりきり体験
- ◆ 平城宮跡探訪ツアー
- ◆ 古代行事の再現

祝祭行事

- ◆ 大極殿完成記念式典（4月後半）
- ◆ 平城遷都1300年記念祝典（10月前半）

夏季：8月20日～8月27日

- ◆ 光と灯りのフェア

春季：4月24日～5月9日

- ◆ 花と緑のフェア

秋季：10月9日～11月7日

- ◆ 平城京 フェア

県内各地事業

社寺の秘宝・秘仏特別公開をはじめ、四季を通して、県内各地の魅力を周遊・探訪できる多彩な展開。

－ 奈良歴史探訪回廊 －

- 奈良大和路秘宝秘仏特別開帳
- 地域イベント（平城京周辺、斑鳩・信貴山周辺、飛鳥・藤原周辺、葛城周辺、吉野周辺、大和高原・宇陀周辺）

- 第27回全国都市緑化ならフェア
- 奈良を巡る多彩なウォーキングイベント
- 「大遣唐使展」等の特別展覧会 など

関連広域事業

「東アジア未来会議 奈良2010」をはじめ、各種コンベンション・フォーラムを誘致、開催するとともに、古京ゆかりの各地等との連携イベントを県内外で実施。

- ◆ 東アジア未来会議 奈良2010
 - － 東アジア地方政府会合
 - － 日本と東アジアの未来を考える委員会 など
- ◆ ゆかりの地および海外との連携イベント
 - － 大百済典（韓国）との相互交流 など

事前展開事業

奈良への来訪や歴史・文化への興味と関心を高められる取組みを展開。

- ◆ プレイベント
 - － 2009ユネスコ東アジア子ども芸術祭イナ奈良
- ◆ 旅行会社・交通関係事業者とのタイアップによる誘致活動
- ◆ 修学旅行・外国人観光客誘致促進 など

「平城遷都 1300 年祭」の推進について

平成 21 年 11 月

【提案先】 内閣官房、文部科学省、文化庁、経済産業省、財務省、
宮内庁、総務省、外務省、国土交通省、観光庁

提案事項

平城遷都 1300 年祭(2010 年開催)を国家的プロジェクトとして展開するため、次の事項について提案する。

- 平城遷都 1300 年記念祝典をはじめとする行催事・展示など、平城遷都 1300 年祭への事業参加、協力・支援。
- 東アジア地方政府会合への政府要人の出席をはじめ、「東アジア共同体」構想にあたっての国と地方の連携の強化。
- 「日本と東アジアの未来について考える委員会」グランドフォーラムへの政府要人の出席をはじめ、本プロジェクトの成果の積極的な活用など、日本の国家戦略構築における地方との連携、未来構想の構築に向けた知的インフラの整備。
- 2010 年が平城遷都 1300 年目にあたることから、これを記念して正倉院展の開催期間の延長、特別展の開催。
正倉院展以外でも正倉院宝物が鑑賞できるように同宝物の復元模造品制作の拡充と活用。
- 平城遷都 1300 年祭を機に、さらに外国人観光客誘致を促進していくための、ビジットジャパンキャンペーンの強力な推進。

【担当課】 平城遷都 1300 年記念事業推進局企画課、文化観光局国際観光課、文化課

東アジア地方政府会合について

◆ 趣 旨

今日、東アジアは、世界のGDPに占める割合が20%を超え、そのうち日中韓三国が、アジアのGDPの7割を占める中、三国がより積極的な協力を進めることが重要と考えます。

奈良県では、2010年平城遷都1300年を迎えるにあたり、日中韓を中心とする東アジアの地方政府が集い、交流し、共通の課題に向き合い、相互理解を深めるため「東アジア地方政府会合」を開催します。

2011年以降も、東アジアの更なる発展の土台となるよう、ひいては全世界の今後の平和と繁栄の基礎となるよう、この取組みを継続します。

◆ 東アジア地方政府会合提唱者会合概要

○開催期間 2009年（平成21年）10月25日（日）～28日（水）

○主 催 東アジア地方政府会合実行委員会、奈良県

○開催場所 奈良県新公会堂、ホテル日航奈良

○参加地方政府

日中韓の計19地方政府	
中華人民共和国	陝西省 西安市
	河南省 洛陽市
	江蘇省 揚州市
大韓民国	忠清南道 公州市
	瑞山市
日 本	扶余郡 奈良県 奈良市
	岐阜県 天理市
	静岡県 檀原市
	慶尚北道 慶州市
	明日香村

○鳩山首相より、東アジア地方政府会合の実施に向けての応援メッセージを受領

◆ 第1回東アジア地方政府会合概要

○開催期間 2010年（平成22年）10月6日（水）～8日（金）
平城遷都1300年記念祝典に併せて開催

○主 催 東アジア地方政府会合実行委員会、奈良県

○開催場所 奈良市内

○参加地方政府

- ・2009年開催の東アジア地方政府会合提唱者会合参加地方政府
- ・新規招請地方政府
ベトナム（ハノイ市、ホイアン市）、インド（ビハール州）など
東アジア地方政府会合の設立に関する奈良声明の呼びかけに応じた地方政府

○オブザーバー

参加地方政府国の大使館又は総領事館、ASEAN事務局、総務省、外務省など

「日本と東アジアの未来について考える委員会」の活動について

◆趣旨

奈良県では、平城遷都 1300 年を記念し、我が国を代表する方々をメンバーとする「日本と東アジアの未来を考える委員会」を設立し、「弥勒プロジェクト」を推進しています。

これは、歴史の知恵に学び、これからの 100 年を見通して、日本と東アジアが目指すべき進路を構想しようとする取組みです。

政治、経済、社会の幅広い分野で、新しい基軸が発見、再構築され、その知の成果は、「平城京レポート」としてとりまとめます。

2011 年以降も、このような知的活動に継続して取り組んでまいります。

◆委員会のメンバー

委員長 平山 郁夫（財団法人日本美術院理事長）

委員長代行 川勝 平太（静岡県知事）

顧問 李 御寧（韓国梨花女子大学名誉教授）

顧問 下妻 博（社団法人関西経済連合会会長）

幹事長 松岡 正剛（株式会社編集工学研究所取締役所長）

事務局長 荒井 正吾（奈良県知事）

合計103名

◆主な活動内容

○「平城京レポート」の策定

委員会活動の全成果を「平城京レポート」に集約、東アジアの平和と発展のガイドラインとする。

○「平城京宣言」の提案

「平城京レポート」のエッセンスを再編集、「平城遷都 1300 年記念祝典」（2010 年 10 月）で日本と東アジアの将来アジェンダとして提案する。

○「日本と東アジアの未来を考える委員会」グランドフォーラムの開催

日時 平成 22 年 12 月 17 日（金）～19 日（日）（予定）

内容 全体討議、分野別セッション、「平城京レポート」の採択

○情報発信

フォーラムの開催、記念書籍の発刊、インターネットによる情報発信